

適用規格					
定 格	使用温度範囲		-20℃ ～ +125℃	保存温度範囲	-20℃ ～ +85℃
	電 圧		AC 200 V , DC 250	—	—
	電 流		3 A	適合ケーブル	△ (φ5.7～6.5)
性 能					
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT AT
構造	外觀、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○ ○
	表示	目視にて確認する。			○ ○
電氣的 性能	接触抵抗	単位コネクタにDC 1Aで測定する。(MIL-C-2316)		20mΩ以下	○ ○
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。(MIL-STD-1344 3003)		1000MΩ以上	○ ○
	耐電圧	AC 900Vの電圧を 1 分間印加する。 (MIL-STD-1344 3001)		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○ ○
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	φ0.736 ⁰ _{-0.003} 鋼製ピンで測定する。		挿抜力 0.2N以上	○ —
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。ロック機構を含む。		挿抜力 50N以下	○ —
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。 (MIL-C-5015 4.6.12.2)		単位コネクタの接触抵抗: 30mΩ以下	○ —
性能	耐振性	周波数 10～ 500 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 98 m/s ² で3方向各3h試験する。 (MIL-STD-1344 方法2005条件Ⅱ)		①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○ —
	耐衝撃性	加速度490m/s ² , 持続時間11ms, 正弦半波 3方向各3回試験する。 (MIL-STD-1344 方法2004条件E)		①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○ —
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +125℃ → 常温 時間30 → 10～15 → 30 → 10～15 分 を5サイクル試験する。(MIL-C-5015 4.6.4)		①絶縁抵抗: 500MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○ —
	定常状態の耐湿性	温度71℃, 湿度95%中に336時間放置する。 (MIL-C-5015 4.6.10)		①絶縁抵抗: 50MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 500MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○ —
	耐腐食性	SO ₂ 670ppm 40℃に8時間, 18～28℃に 16時間放置する。(DIN 50018)		機能を損なうようなはなはだしい腐食が ないこと。	○ —
	耐水圧性	適合コネクタをカン合した状態で 水深1mに0.5時間放置する。(JIS B 6015)		コネクタ内部に浸水が無いこと。	○ —
	耐気圧性	適合コネクタをカン合した状態で エア一圧40kPaを30秒間加える。		コネクタ内部より気泡の漏れが ないこと	○ —
	耐油性	適合コネクタをかん合した状態で切削油を毎時0.5% の割合で48時間滴下する。(JIS B 6015)		コネクタ内部に油の浸入の無いこと	○ —
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+350±10℃ で3～4秒間ソルダ・ホット部へ当てる。		外觀の変形及びコネクタなどに著しい ガタがないこと。	○ —
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃ で2～3秒間のはんだ付けを行う。		はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし はんだはじき部分などの欠点のないこと。	○ —
	塩水噴霧	濃度5%の塩水に48時間放置する。 (MIL-STD-1344, 方法3001 条件B)		機能を損なうようなはなはだしい腐食が ないこと。	○ —
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
1	1	DIS-C-001334			
備考				承認	MO. SATOH 08.02.14
				検 図	HY. KOBAYASHI 08.02.14
				担 当	DS. MATSUNE 08.02.14
				製 図	HN. TANAKA 08.01.21
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-115408-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HR34B-12WLPD-10S	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL134-0039-1-00	△ 1/1